

<volume, page no.>
43,465-467

<section>
POPs-International Action To Address Dioxins And Furans

<English title>
The Thailand-German Dioxin Program

<Japanese title>
タイ - ドイツのダイオキシンプログラム

<authors>
Pornpimon Chareonsong

<key words>
POPs,inventory,PRTRs,PCD,GTZ,Pilot Project

<Japanese key words>
残留性有機汚染物質、インベントリ、PRTRs、公害管理局、ドイツ技術協力、パイロット事業

< summary>
タイは国際連合の加盟国として、Agenda21 の 19 章に基づいて化学物質管理の重要性を認識している。最近では、POPs の国際的な取り組み実施のための UNEP (国連環境計画) 管理理事会による 18/32、19/13C の決議のように、国際取引やロッテルダム条約における「特定有害化学物質、及び、農薬の事前の情報に基づく承諾の手続きの適用」についても UNEP の管理理事会で 18/12、19/13A が決議された。また、1997 年タイで開催された政府間の化学安全フォーラム(IFCS)の第 2 会期で、POPs の製造と使用に関する人体や環境への影響の低減または廃絶のため、アルドリノ、クロルデン、 DDT、ディルドリン、エンドリン、ヘブタクロール、HCB、マイレックス、トキサフェン、PCB、ダイオキシン類、及び、フラン類の 12 の化学物質が POPs として指定された。
タイのダイオキシンプログラム：タイでは、すべての有機塩素系農薬と PCB の使用はいくつかの政府の管轄によって完全に禁止されており、定期的に監視されているが、ダイオキシン類・フラン類は先進国に比べてはるかに多く出ている。そこで、先進国の中でドイツが GTZ(ドイツ技術協力)によって化学物質管理の改善点についてのパイロット事業を始めたことを知り協力を求めた。事業内容は、発展途上国の公共機関の要望で特別な機器の専門技術や経験についての情報を提供し、具体的に実施を助けることである。
タイのダイオキシンプログラムの活動展開：運営委員会の設立。ドイツのダイオキシン専門家の協力の下でのダイオキシン類・フラン類に関連するアンケート作成。選ばれた産業（セメント工業・発電所・火葬場・非鉄金属工場）でのアンケート収集。
将来的な活動：GTZ（ドイツ技術協力）及び、ドイツの職業安全健康研究所の協力で、ダイオキシン類・フラン類のサンプリングと分析にかかる経費の援助を依頼し、長期のモニタリングシステムを実行するために、特定のダイオキシン類・フラン類の研究所を設立することを計画した。この研究所は、タイのダイオキシン類・フラン類を分析するためだけでなく、近隣諸国に対しても、利用できるように計画されている。

<translator>
亀山奈央子
<end>